

topic
01

デザイン科 3年生 有田町を舞台に映画撮影

「クリエイター×高校生×ケーブルテレビ＝地域元気コンテンツ創生プロジェクト」

映画タイトル 「流れる青と夏の欠けら」

8月28日(月)から30日(水)までの3日間、デザイン科の課題研究の一環で映画撮影を行いました。プロの指導の下で制作し、映像に関する専門的知識を学んだり、地域の良さを再発見したりすることが目的です。4月から3か月以上かけてシナリオを作り、本校の生徒でキャスティングを決めて、これまで稽古を重ねてきました。

学校内や有田町内の風情ある街並みや趣深い路地をバックに撮影し、撮り直しのため日没ぎりぎりまでかかるなど、撮影の大変さがわかった経験でした。

撮影が進むにつれて、カチンコを打つ坂口琴音さんの姿も様になってきて、撮影はクランクアップを迎えました。現在は12月末の公開に向けて編集中です。今後は、制作資金の寄付金活動やクラウドファンディングも実施していく予定です。井手監督をはじめ、スタッフのみなさん、松尾町長、有田町内の皆さまのご協力ありがとうございました。

松尾町長と
みんなで
記念撮影♡カチンコ
さまに
なってますか？監督とスタッフ
撮影中！topic
02

セラミック科 2年生 伝統工芸品教育事業

9月12日(火)に伝統工芸品教育事業が行われ、本校セラミック科2年生が伝統工芸士の先生方からろくろ成形について直接指導を受けました。1年時から授業でもろろろについて学んできた生徒たちですが、さらに高度な技術を目の当たりにすることができました。伝統工芸士の先生方のいつも以上に力が入ったご指導に、生徒たちも真剣に取り組んでいました。

市川浩二先生、大串秀則先生、大林吉幸先生、お忙しい中、ご指導して頂き誠にありがとうございました。

大串 秀則先生



市川 浩二先生



大林 吉幸先生



9月4日(月)、今年で22回目となる「高校生クリエイターの新聞広告」(佐賀新聞社主催)のオリエンテーションがあり、本校には合わせて県内4つの企業や団体が来校されました。

この企画では、企業が提示した製品や、企業そのもののコンセプトに沿って、デザイン科の生徒たちが実際に新聞に掲載する広告を制作します。当日は企業の方からの製品や企業自体の特徴などの説明が行われました。企業にはお客さまへ伝えたいメッセージがあり、生徒たちも、いろんな視点から質問をして、どんどんイメージを含まらせていきました。これから2か月間で、コンセプトに沿い、工夫を凝らした広告制作に入ります。どんな発想の作品が出来上がってくるのか楽しみです。



佐賀県精神科病院協会さま



佐賀トヨペットさま



ヘアメイクもマネキンで体験中

エッジ国際美容専門学校さま



モラージュ佐賀さま

地域みらい留学支援 飲食協力店 ステッカー 完成

地域みらい留学支援の一つに、有田町内にある飲食店様による栄養面からのサポートがあります。高校生が気軽にお店へ入れるように、協力店舗に貼るステッカーを企画しました。ステッカーはデザイン科の生徒にデザインをお願いし、30個の図案ステッカーの中から、学校運営協議会委員の方が選考し、酒井こねさんのステッカー(右)が採択されました。

これから、協力飲食店へステッカーを持って伺います。どうぞよろしく願いいたします。

料飲店組合長の森清さまと
地域みらい留学生の服部さん



飲食協力店
ステッカー

SAGAコラボレーションスクール 第3回 学校運営協議会



活発な意見交換が
なされました

9月20日(水)に、第3回学校運営協議会が開催されました。今回は地域みらい留学生の受け入れや、地域との連携についての話し合いが行われました。学校行事に町や地域が協力していただくことのできるような、活発で建設的な意見交換がなされました。

議事後は「スクールミッション」についての理解を深める研修を行いました。



地域が期待する学校
について考えました

地域みらい留学 in 東京

9月23日(土)、24日(日)の2日間、東京代々木の国立オリンピック記念青少年総合センターで行われた、地域みらい留学の合同説明会に参加しました。全国募集を行っている高等学校が東京に集まり、関東圏に在住の中学生を中心に本校の魅力を伝えてきました。

会場に来て頂いた中学生や保護者の方の中には、本校セラミック科やデザイン科の特徴的な学びについて、前のめりで興味深く聞いてくださった方も多く、手ごたえを感じた2日間でした。

熱心に聞いて
くださってます

